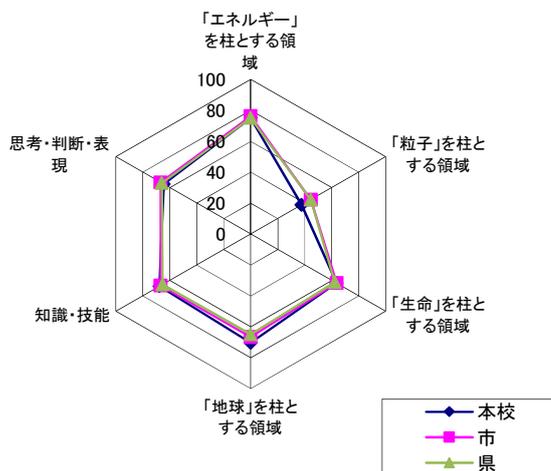


宇都宮市立桜小学校 第4学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	「エネルギー」を柱とする領域	75.1	76.2	75.1
	「粒子」を柱とする領域	37.6	44.5	44.5
	「生命」を柱とする領域	63.6	63.6	62.3
	「地球」を柱とする領域	70.3	66.6	64.9
観点	知識・技能	67.7	66.8	65.4
	思考・判断・表現	64.5	66.8	65.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
「エネルギー」を柱とする領域	<p>平均正答率は、市の平均よりやや低い。</p> <p>○鏡で光を反射させる実験に関してよく理解しており、どの設問においても、正答率が県や市と比べて5～10ポイント高い。</p> <p>●「風とゴムのはたらき」については、どの設問も正答率が県や市と比べて低い。問題文や資料を正しく読み取るのが苦手である。</p> <p>●電気を通すものの総称を問う問題で、問題の意図を理解できず、電気を通す性質がある名称を解答していた。</p>	<p>・「光の性質」等、各自で実験や記録をし、結果を適切にまとめる学習形式を継続していく。</p> <p>・「風とゴムのはたらき」等、各自で実験をしても、テストの問題文や資料の情報が増えると正答できない傾向があるので、問題に関する情報を正しく読み取る練習をしていく。</p> <p>・選択問題と比較すると、短答問題に課題がある。分かったことを自分の言葉でまとめることで、学習内容を整理して定着できるよう指導していく。</p>
「粒子」を柱とする領域	<p>平均正答率は、市の平均より低い。</p> <p>●姿勢を変えて測っても体重は変わらないかを問う問題の正答率は3.2%であり、課題が見られる。</p> <p>●粘土をいくつかに分けても、もとの全体の重さは変わらないかを問う問題の正答率は30.3%で市の平均より12.5ポイント下回っている。</p>	<p>・児童の関心も高そうな課題であるので、教師の演示を見せるなどの工夫を行っていく。</p> <p>・グループで行いまとめた内容を、クラス全体での結果のまとめとして、の学習のまとめの仕方を工夫し、知識としてより深く定着させるようにする。</p>
「生命」を柱とする領域	<p>平均正答率は、市の平均と同じである。</p> <p>○実際に実験や観察をしたチョウの育つ様子やすみかについて、よく理解している。</p> <p>○記録カードを比べてわかることを選ぶ問題は理解している。</p> <p>●虫眼鏡の使い方については、市の平均正答率よりやや高いが、定着率は低いので課題が見られる。</p> <p>●記述式の問題に課題が見られる。</p>	<p>・今後も体験活動の時間を確保することや、実験結果について考察し、まとめ、振り返る活動をしっかり行うことを重視した取り組みを継続していく。</p> <p>・言語活動に意欲的に取り組み、学んだことを言語化することに慣れていけるようにする。</p>
「地球」を柱とする領域	<p>平均正答率は、市の平均より高い。</p> <p>○温度計の使い方や、かげの動きなど、実験や観察をした問題をよく理解している。</p> <p>●太陽の位置の変化を方位で理解することに、課題が見られる。</p>	<p>・今後も実験などの体験的活動を通し、考えさせる場の設定を行うことを継続していく。</p> <p>・自分の考えをもとに、まとめや振り返りを行い、理解の定着を図る。</p>